

はじめに

二学期の後半に入りますと、発達上、色々な部分で「深み」が出てきます。遊びに深みも出てきますし、保育者との関係や友だち関係においても「深み」が出てきます。子どもたち一人ひとりの心の変化に注目をしつつ、今月も保育をしていければと思います。

～運動会お疲れ様でした！～

素晴らしい天候に恵まれて、沢山の方々のご理解とご協力を頂いて、運動会が無事に終わりましたことを、心より感謝申し上げます。

子どもたちの「今の姿」が、しっかりと受け入れられた運動会であったように思います。子どもたちは、この日のために、沢山の練習を積み重ねてきました。少しずつ、運動会に向けて心を傾けていながら、自分たちのできることを積み重ねていったのだと思います。沢山の方々に見られることで、緊張したり、動揺したりする姿も見られましたが、それもまた、大切な「今の姿」であると思います。

できる・できないが重要ではなく、そこに「いる」ということ、「やってみる」ということ、「がんばってみる」ということで十分素敵であると思います。そして、体を動かすことの楽しさ、応援してもらえらるる喜び、一緒に何かをすることの心地よさを、少しでも、感じてもらえたら十分なのです。運動会後、何かにチャレンジをしてみる、という姿も見受けられました。きっと、おうちに帰った後、沢山、優しい言葉をかけてもらえたのだらうなあと感じた次第です。

～「今はそんなもんだよなあ」がちょうどいい時もある～

子育てをしていると、どうしても、他の子どもと自分の子どもを比較してしまうことがあります。そして、安心したり、不安になったりするものです。こういう感情の浮き沈みは、かえって親の心を疲れさせてしまうこともあるかもしれません。

しかし、考えてみれば、子どもたちは、まだ10年も、この人生を歩んでいませんし、そのうちの二年ぐらいは、感染症の影響を受けて、十分な経験を積んでいないわけです。ですから、出来ないことがあっても仕方はないのです。無理にさせたりすることで、かえってやることを拒んだり、嫌悪感を抱いたりすることもあるかもしれません。

だから、大切なことは、「いまはそんなもんだよなあ」という心の落としどころを、大人が心のどこかに置いておくことが大切です。そのことによって、心に余裕が生まれ、子どもとの関係に温かさすらも生まれていきます。そういったプレッシャーから解放された子どもたちは、むしろ、主体的に物事に取り組むこともあるのです。

失敗すること、できないことは、決して、悪いことではありません。むしろ、それは「のびしろ」があることを意味し、ちょっとずつ出来ていく時の喜びを、それだけ沢山かみしめられるチャンスでもあります。

出来る・できないという結果ばかりに注視するのではなくて、出来ている部分をしっかりと見つめ、子どもたちの心に優しい言葉を沢山かけていけば、子どもたちは、安心して、チャレン

ジを繰り返していくでしょう。何か不安や悩みがあるときは、重荷をそっと降ろすようなお気持ちで、幼稚園までご相談ください！一緒に考え、一緒に悩みながら、一人のお子様の成長のために、共に歩んでまいりましょう！！

～つながる保育～

年中さんは、運動会で、消防車に乗ってお母さんと一緒に、火を消しに行くという親子競技をしました。思い返すと、毎日の自由時間で、ジャングルジムを消防署に見立ててゴッコ遊びをしていたのも一部の年中さんだったなあ。そういえば、ブロックで消防車作っていたなあなど、色々と思い返しました。

子どもたちが楽しいと感じたものを、教師が汲み取り、運動会に落とし込めたことで、子どもたちのやろうとする気持ちも良い方向へと上げられていたように思います。そして、何よりも年中さんは、この運動会後、なんと！消防署見学までいきました！自由時間の何気ない遊びが、本物を見るという経験へとつながっていったのです。これは、子どもたちにとっても大きな刺激になるだろうと思うのです。

年少さんは、「どんぐりころころ」の歌が大好き。お母さんありがとうの会でも、それをテーマとして保育が展開され、ついに、園外保育で、どんぐり拾いへと広がっていきます。

年長さんは、「やればできる！」という掛け声（ギャグ？）が大好き。お泊り保育や運動会の練習においても、その掛け声が広がっていき、みんなのやる気スイッチになっていきます。

越谷幼稚園の保育は、ある意味で、「つながり」「展開」を大切にしています。教師たちが、敏感に、子どもたちの今の姿を受け止め、それを保育に生かし、展開させ、新しい経験へと導いていきます。そうすることで、子どもたちの心の中に、心地よさ、喜び、驚きや刺激など、沢山の良い糧が積みかさなって、人間形成の大切な土台を作り上げていくのだと思うのです。

こういう保育を自然にできる教師たちの行動力ある姿には、いつも驚かされるばかりです。

園長 須賀工

～栄養士だより～

《旬の食材を食べましょう》

温暖化の影響でしょうか、以前に比べると、秋を楽しむ期間が短くなっているように感じますね。だからこそ、この時期に収穫できる食材を存分に使い食事を楽しめるといいですね。

「食欲の秋」とも言われるこの秋は、栄養価の豊富な旬の食材がたくさんあります。エネルギーのもとになる食材として、米、さつまいもなど、風邪を予防するビタミンAやCが多く含まれる食材として、小松菜、赤ピーマン、白菜、さつまいも、みかんなどがあります。これらの食品を取り入れて、お食事を楽しんでください。先日、ばらぐみさんが掘ってきたさつまいもで、さつまいもご飯を作ってみました。お米2合に対して、ダイス型に切ったさつまいも200gと塩小さじ1、酒大さじ1を加え、水加減をして炊きました。ホクホクしてとてもおいしかったです。バランスよく食べて、元気に過ごしていきましょう。 いけだかずみ

